

店舗・業務系施設のエネルギーの不安を、



解決。

— エネルギーコスト最適化のために。

電力コスト
上昇抑制

省エネ法 S クラス
評価維持獲得

エネルギー原単位
継続的改善

初期投資不要 店舗・業務系施設向け 総合パッケージサービス

Selfit-PVSM

エネルギーマネジメントサービス セルフイット-PV



- EMS（エネルギーマネジメントシステム）で施設内の設備を制御し、電力デマンドを抑制します。
- 太陽光発電の自家消費で電力会社からの買電量を削減し、省エネルギーを実現します。
- ESCOスキームを活用し、初期投資ゼロでEMSと太陽光発電システムを導入します。
- 省エネルギーを実現し、電力コストを基本料金、従量料金ともに削減することができます。

※商標登録出願中

 明日を未来にする。
Next Energy

株式会社 ヴェリア・ラボラトリーズ

 eia-info@veglia.co.jp

 03-6279-0782

<https://www.veglia.co.jp/>

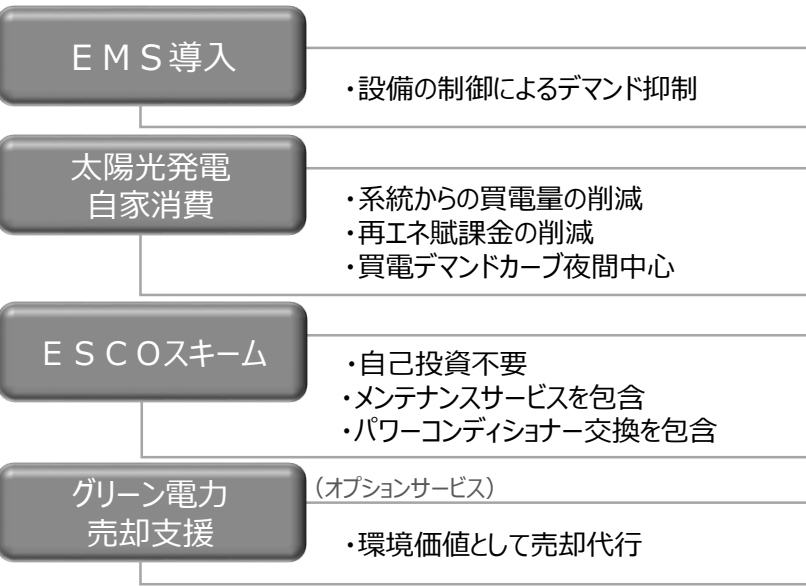
 EMS
エネマネ

〒160-0023
東京都新宿区 西新宿
1-8-1
新宿ビルディング 5 F

省エネ法対応、電気料金上昇対策、これで万全。

Selfit-PVSM 導入メリット

初期投資不要 店舗・業務系施設向け総合パッケージサービス

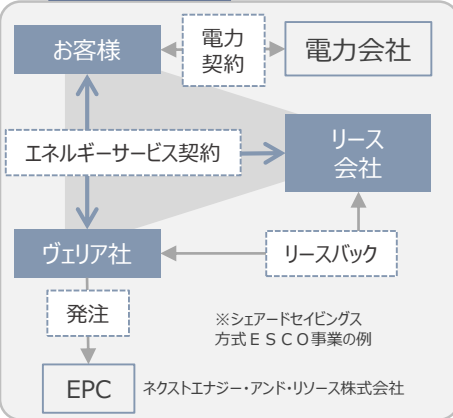


お客様メリット

- ・電力基本料金の低減
- ・電力従量料金の低減、再エネ賦課金抑制
- ・省エネ法原単位改善 Sクラス維持獲得
- ・夜間電力単価低減交渉有利
- ・設備所有せずサービスとして利用可能
- ・お客様は軽微な日常点検だけ
- ・面倒な点検・交換は当社が実施
- ・環境価値売却益を獲得

※環境貢献PRの表現には制約があります。

契約スキーム例



太陽光発電システム 設置例

・過去1年間の電力使用状況、屋根の面積などを考慮し、適切な発電容量を提案します。

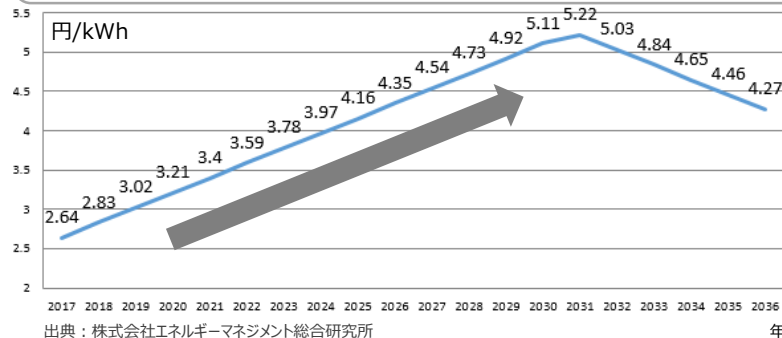


導入前後のデマンドグラフ比較イメージ

- ・発電が可能な日中の時間帯について、系統からの買電量が減少し、省エネルギーの実現とみなすことができます。
- ・買電が夜間中心となり、電力契約の見直しや、夜間電力メニューが充実した電力会社への乗り換えが可能となります。

再エネ賦課金のの上昇予測

- ・電力従量料金に含まれる再エネ賦課金単価は2030年頃まで上昇を続け、2017年の約2倍にまで上昇する見込みです。
- ・省エネにより買電量が減少すれば、上昇による負担を抑制することができます。



株式会社 ヴェリア・ラボラトリーズ

✉ eia-info@veglia.co.jp

☎ 03-6279-0782

<https://www.veglia.co.jp/>



〒160-0023
東京都新宿区 西新宿
1-8-1
新宿ビルディング5F